



12
色絵金彩秋草に鶏図花瓶
1点
明治初期
陶磁 径21.3、高52.5
三の丸尚蔵館



11
色絵金彩薔薇に鸚哥図花瓶
1点
明治初期
陶磁 径29.0、高67.0
三の丸尚蔵館

明治17年(1884)に延遼館が外務省から宮内省へ移管された際に、延遼館備品として引き継がれた薩摩焼の花瓶。薩摩焼は幕末から明治前期にかけて薩摩藩(のち鹿児島県)の有力な輸出品として海外でも評価が高く、国内の他の地域に先駆けてこのような華やかな色絵による花鳥図をほどこした大型花瓶が制作された。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan
Imperial Household Agency